

# 町会だより

令和3年8月吉日

第130号

5街区町会

☎ 737-6210



## 暑中お見舞い申し上げます

平年より3日早く梅雨が明け、暑さとの戦いが  
始まりました

みなさまお変わりなくお過ごしでしょうか  
ワクチンの接種も大分進んで参りました

オリンピックの開催と4回目の非常事態宣言、  
暑さのなか、複雑な気持ちですが、涼しくなる頃には、何とか  
コロナも落ち着いてくれないでしょうか？ とごくわずかな望みを  
抱いている今日この頃です

みなさまも気疲れが溜まりませんようにご自愛ください

5街区町会役員一同

暑いときに、暑い俳句を探しました……

◇ ほらごらん 猛暑日なんか 作るから 中原幸子

暑い日が続きますね、言葉が現実を作り出すのでしょうか。「夏日」「真夏日」に加えて「猛暑日」が作られたのが2007年。そんな言葉に合わせて気温がうなぎのぼりになっているのかもしれませんが。

「酷暑」「極暑」と言う季語も、いかにも暑そうですが「猛暑」となると一枚上手、暑さがうなり声をあげて息巻いていそうです。

今は30度の「真夏日」はまだ涼しい、と思ってしまう毎日です。冷房の効いた建物から一步外へ踏み出せば、灼熱の日差し、アスファルトの照り返しに頭がかすんで息も詰まるばかり。そんなとき、この句がぐるぐる頭を回りだします。今までの最高気温は2018年熊谷市で記録された41.1度ということでしたが、今年はどうなのでしょう。(2020年浜松市でも同記録)



みなさまコロナ禍のなか、熱中症にもくれぐれもお気をつけください。

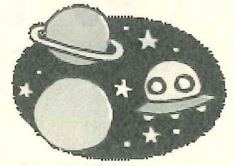
- 夏日 = 気温が25℃以上の日
- 真夏日 = 日中の最高気温が30℃以上の日
- 猛暑日 = 日中の最高気温が35℃以上の日

• 中原幸子 (なかはらさちこ) 1938年和歌山県生まれ 大阪俳句研究会理事

## ◇ 人間に 火星近づく 暑さかな

萩原朔太郎

あの星には何もないんだよ、という火星とは、現代とちよつと違っていて、萩原朔太郎の詠んだ大正時代には、火星には何かあるに違いない、と思われていた火星が近づいてきてるわけです。



「人間」に「火の玉」のような星が近づいてくる。だから「暑さかな」と言うのは、暑くてかなわん、というよりも、何かこう暑さの中に不気味なものが混ざっているような暑さということでは無いでしょうか。

- ・ 萩原 朔太郎（はぎわら さくたろう）1886年—1942年 詩人、日本近代詩の父と称される。

## ◇ あつきもの むかし大坂 夏御陣

夏目漱石

物凄く暑かったでしょう。みんな戦支度ですから。大坂夏の陣は、1615年（元和元年）夏。徳川家康・秀忠の大軍の前に、豊臣秀頼、淀君が自刃して果て、豊臣家が息絶えた戦でした。

夏の陣のことを思うとき、普通の人には二人の悲劇に思いをめぐらすでしょうが、漱石は「さぞや暑かったろう」と涼しい顔をしているのかもしれませんが。



- ・ 夏目漱石（なつめそうせき）1867年—1916年 小説家、評論家、英文学者、俳人で、明治末期から大正初期にかけて活躍した近代日本文学の頂点に立つ作家の一人。代表作は『吾輩は猫である』『坊っちゃん』『三四郎』『それから』『こゝろ』『明暗』など、明治の文豪として日本の千円紙幣の肖像になり広く知られている。

## ◇ 弟子となる なら炎帝の<sup>えんてい</sup> 高弟に

能村登四郎

その昔、織田信長の甲州征伐により、武田領内が混乱するとその後に恵林寺は織田氏による焼討ちにあい、住職快川は一山の僧とともに焼死した。



恵林寺＝山梨県甲州市塩山小屋敷にある寺院。甲斐武田氏の菩提寺として知られる。

恵林寺住職快川が、火をかけられ焼死しようとする際に発したという「心頭を滅却すれば火もまた涼し」の境地には至りえない。ならば、猛暑の上を

行ってやろう。いっそのこと「炎帝」の弟子になってやれ、それも「高弟」になって、我とわが身を真っ赤な火の玉にして燃えつつけてやるんだ……。

暑さには暑さを、目には目を。猛暑酷暑に立ち向かう気概にあふれていて、気持ちの良い句とされています。

◇ 炎帝=夏をつかさどる神、またはその神としての太陽のこと。また、れっきとした夏の季語です。

◇ 心頭を滅却すれば火もまた涼し= いかなる苦痛も、心の持ち方次第でしのげるという教え。

・ 能村登四郎 (のむら としろう) 1911年-2001年 東京出身の俳人。水原秋桜子に師事、

## ○ 猛暑日とは

最高気温が35℃以上の日。気象庁が天気予報や気象情報などで2007年（平成19年）から使うようになった予報用語の一つ。気温が上昇して猛暑日となるのは、高気圧に覆われて風が弱く、晴れて日射が多いときで、猛暑日は、沿岸部よりも日中の気温が上昇しやすい内陸部や盆地で多い。山越えの高温な気流が吹き込むフェーン現象が重なっていることも多い。都市化によるヒートアイランド現象も猛暑日に至る高温に関係しています。

猛暑のような高温が続くと、暑さで体温の調節ができなくなるなど身体への負担が大きく、熱中症にかかる人が多くなります。地球温暖化が進むと猛暑日が増加すると予測されていますが、とくに関東地方から西の地域で猛暑日が大きく増加するとみられるそうです。

## ○ コロナ禍と熱中症

熱中症とは激しい労働や運動によって体内に激しい熱が生じ、発熱や倦怠感、食欲不振、筋肉痛などコロナウイルス感染症と似たような症状が多く、症状だけでは判断が難しいことがあります。発症状況や経過、行動履歴など総合的にみて対応が必要となるので、判断に迷ったときは春日部市保健センター（048-736-6778）へ連絡し相談をしてください。



また、マスク着用によって呼吸が通常より妨げられ、体熱放散しにくくなるので注意が必要です。

口の渇きも感じにくくなり、水分補給が不十分になり気づかないうちに脱水症状となることがあるので、喉の渇きを感じる前に水分補給するよう心掛けてください

また、高温や多湿といった環境下でのマスク着用は、熱中症のリスクが高くなるおそれがあるので、屋外で人と十分な距離（少なくとも2 m以上）が確保できる場合には、マスクを外すようにしましょう。

# ラジオ体操 がはじまります



ラジオ体操の歴史は古く、90年前の1928年（昭和3年）に放送が開始されています。

健康ブームに流されやすい日本人が、これほど長くラジオ体操を続けてこられた理由は「手軽さ」にあると言われます。老若男女問わず、誰でも、どこでもすぐにできる手軽さがラジオ体操の魅力です。

しかも、たったの3分！ 正確には、ラジオ体操第1は3分11秒、少し難易度の上がる第2は3分30秒。たった3分と侮<sup>あなど</sup>るなかれ。その短い時間に13種類もの運動が組み込まれています。

ラジオ体操は、短い時間ながらも普通に歩くより強い活動量があります。

手軽で楽しいから続けられる、続けるからこそ効果があります。大人になってラジオ体操から遠ざかっている方も、これを機にまた始めてみようかな？ ……とお思いの方もぜひ御参加下さい。

8月20日（金）～28日（土）

中央広場にて

22日（日）はお休みです。

## ☆ 避難所開設訓練に参加しました…

6月29日中央公民館に於いて、市担当者より豪雨災害などを想定し、コロナウイルスの感染防止対策も取り入れた避難所の開設準備と初期運営の説明があり、その後、実地訓練を実施、避難所のレイアウトの確認、一人用段ボールベッドの組立て、間仕切りパーティションの設置を行いました。



安全部防災

## 8月 開催予定

「資源回収」	1日（日）	9時～	
「アルミ缶月なか回収」	21日（土）	9時頃までに	各階段下
「ラジオ体操」	20日（金）～28日（土）	6時30分～	